

令和3年12月 8日
四国地方整備局 四国技術事務所

孤立した現場の早期復旧を目指して

～「空輸対応型バックホウ」の分解・組立訓練を実施～

四国技術事務所が保有する「空輸対応型バックホウ」について、大型ヘリコプターで空輸可能な13パーツ（約3t未満）への分解と組立訓練及び機能確認を行います。

大規模な災害では度々、被災現場への道路交通が途絶され、災害復旧作業を行うバックホウの運搬が不可能となりますが、分解したバックホウをヘリコプターで空輸し、現場で組立てることで迅速な対応を行っています。

四国技術事務所では2年に一度、本訓練を実施しています。今回一般の方を対象に「現場を想定した組立訓練」の見学会を開催します。

【見学会】

開催日 令和3年12月16日（木）10:00～12:00
小雨時決行ですが、大雨・強風時は中止と致します。
詳細については、お問い合わせ下さい。

開催場所 国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所構内
（香川県高松市牟礼町牟礼1545）

【訓練全体スケジュール】（予定）

①分解訓練

期間：令和3年12月6日（月）～12月10日（金）

場所：近隣の整備工場

②現場を想定した組立訓練

期間：令和3年12月13日（月）～12月17日（金）

場所」四国技術事務所

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「№1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

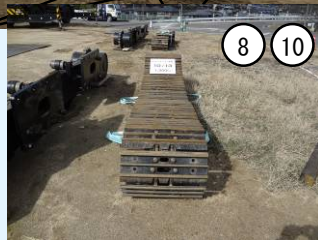
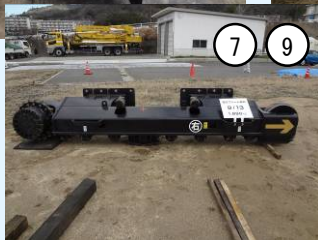
国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 TEL（087）845-3135（代表）
四国技術事務所 副所長 田中 裕（内線204）
◎施工調査・技術活用課長 柏木 佳彦（内線381）
◎：主な問い合わせ先

今回の分解想定 13パーツに分解



機械の概要

バケット容量	: 1.0m ³
機械質量	: 22,400kg
全長	: 9,460mm
全幅	: 2,980mm
全高	: 3,030mm (寸法は輸送時の数値)
操作方式	: 標準操作方式 (ISOパターン)
遠隔操縦性能	: 通信範囲 約150m
その他	: ヘリコプターで運搬可能な 2.8t/パーツ以下に分割が可能



バックホウを13個に分解した時の各パーツ写真



「⑤パーツ」組立状況写真



「⑥パーツ」組立状況写真

「災害現場における空輸対応型バックホウの活躍

(H28 熊本地震災害復旧現場 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村))



目視での遠隔操作



モニターでの遠隔操作

平成28年4月14日発生地震による災害復旧現場では、国道上の法面崩落土砂の撤去作業を、安全と思われる場所から遠隔操作にて実施しました。

分解・組立確認作業の会場案内



5月・6月 梅雨の長雨と阿蘇特有の“黒ボク”との戦い！



▲霧による視界不良



▲降雨により泥濘化

▲足場が悪く重機が沈み込む



▲土砂を改良しながら施工

7月・8月 待ちに待った梅雨明け 晴天が続き工事も順調で、土留盛土の上段が完成



▲天候に恵まれ作業も順調



▲無人化機械もフル稼働！



▲8月末、土留盛土の上段が完成

9月・10月 土留盛土(上段)が完成し、頭部の不安定土砂の除去(ラウンディング)に着手



▲斜面頭部では3台の高所法面掘削機が稼働中



▲急斜面でもワイヤー吊りで大丈夫

無人化の操作は1km離れた安全な場所で



▲遠隔操作で14台の無人化機械が稼働

斜面上部で働く機械はヘリコプターで空輸



▲分解した重機をヘリで空輸し、頭部で組立

